

JSRA 第34回通常総会を開催 鳥海重利氏が代表理事に再任



鳥海重利代表理事

協同組合日本タイヤ
リサイクル協会（JS
RA、鳥海重利代表理
事）は5月22日、都内

で第34回通常総会を開
催した。総会では、役
員改選を含む全ての議
案が原案通りに承認可
決された。役員改選に
おいては、前役員全員
が再任。代表理事（理
事長）は鳥海重利氏（ト
リウミ）が務める。副
理事長には金澤亮氏

（国分商会）、加藤定伸
氏（ブリヂストン松山
タイヤセンター）が、
理事には弓田大介氏
（神鋼産業）、伊藤諒亮
氏（イトウ）、岩本昌久
氏（栄タイヤ）、吉本恭
宣氏（ヒカリワールド）
が、監事には小林伸好
氏（柴崎商事）が就任
した。

総会后、鳥海代表理

事は「廃タイヤ処理業
界においては、今年度
も需要が供給を上回る
状況は残念ながら継続
すると見込まれる。さ
らに、再資源化の質と
量の改善・拡大を目的
とした再資源化事業等
高度化法が施行されて
おり、私たちも循環型
社会への移行を見据え
て日ごろから対応を考
えていかなければなら
ない。JSRAを取り
巻く環境が大きく変わ

るなかで、タイヤ関連
業界や行政、関係先等
の協力を得ながら、協
会の基本理念である
『順法活動の遵守』『再
資源化への積極的貢
献』『タイヤ業界との
協調と業界の地位向
上』『未来と社会への
貢献推進』を着実に遂
行していく」とあいさ
つした。

議案書における20
26年度の事業計画案
では、今後JSRAが
目指す方向に関する事
業の項目にて、一部の
事業者による不適切な
買い取りや不法集積な
ど、従来の業界秩序を
乱す動きが加速してい
ることを報告。不適切
な動きを注視し、関係
機関との連携を強化し
て健全な市場環境の防
衛に努めるとした。